

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、2事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成25年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中4項目（研究、社会貢献、業務運営、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、2項目（教育、財務）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

なお、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した業務運営に係る事項については、指摘を踏まえ改善に取り組んでいることを確認した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業、ひとり親家庭の学習支援等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成25年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 教養教育の充実
 - ・グローバル化に対応するために、教養演習英語クラスの開設を決定するなど語学教育の充実に取り組んでいる。
- (2) 専門教育の充実
 - ・実習教育の充実の新たな取組として、子どもコース学生交流会を企画・実施した。
 - ・老年看護専門看護師コースの認定審査申請が遅れるなど高度な看護専門職教育の充実の取組に若干の遅れがある。
- (3) 教育効果を検証するシステムの構築
 - ・精神保健福祉士、助産師等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。
- (4) 教員の教育能力の向上
 - ・教員間の授業参観システムを実施するなど、FD（※）推進に努めており、大学院教員のFD研修会の参加が100%となった。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (5) 優秀な学生の確保
 - ・オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加等、入試広報活動への取組を積極的に行っているが、志願倍率は低下しており、原因分析と対策に取り組む必要がある。
- (6) 学生支援の充実
 - ・マイキャリアポケット（社会貢献活動記録帳）を活用したインターンシップの単位認定を正規の授業として実施するなどキャリア形成支援の強化に努めている。
- (7) 学習環境の充実
 - ・ラーニングコモンズについて、学生からのニーズが高いことを踏まえ設置した。
- (8) 人間社会学部の改革
 - ・学内プロジェクト会議による検討を進め、改革案を作成した。
- (9) 両学部連携の大学院博士課程の新設
 - ・ワーキンググループによる検討は進めているものの、新設案の策定に至らなかった。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の応募率が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・不登校・ひきこもりサポートセンターでは、サポーター派遣延べ人数が過去最高を達成するなど、不登校・ひきこもり対策を積極的に行っていることを評価する。
- ・地元商店街の交流拠点を活用したひとり親家庭の学習支援、大学生災害ボランティアサポーター養成研修修了者の被災地派遣等地域や行政と連携した新たな取組を開拓した。
- ・リカレント教育の総参加者数が昨年度実績を上回った。
- ・山本作兵衛コレクションが国際アーカイブス講演で大学の業績として紹介された。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。
- ・教員表彰制度を創設し、教員表彰募集要領を定め、ベストティーチャーを選定した。

5 財務

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

財務については、年度計画を着実に実施しているものの、財政状況は引き続き厳しい

状況であり、目的積立金の取崩しによって収支の均衡を図っていることから、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・財政状況は引き続き厳しい状況であり、目的積立金の取崩しによって収支の均衡を図っていることから、経費削減対策等を講じ、早急な改善を図る必要がある。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、「プレ・インターンシップ」の授業の様子等教育プログラムにおける特色ある取組についてホームページで広報している。